

開催日時	平成 27 年 10 月 26 日（月） 18：30～20：00
開催場所	釧路市役所 議場
参加人数	10 人
出席議員	<p>月田光明 議長</p> <p>金安潤子 議員（議会広報特別委員長：司会）</p> <p>松橋尚文 議員（議会運営委員長）</p> <p>草島守之 議員（総務文教常任委員、石炭対策・関連エネルギー調査特別委員）</p> <p>戸田 悟 議員（経済建設常任委員、都心部市街地整備特別副委員長）</p> <p>高橋一彦 議員（民生福祉常任委員）</p>
質疑応答の内容	<p>問：釧路新聞の「巷論」欄を執筆しているが、先般、釧路市議会は変わったと書いた。22 年前に転入してきたとき以来、久しぶりに議会を傍聴して、整然としていると感じた。昔はザワザワとしていて、野次も多かったと思うがどうか。</p> <p>月田：議員席からの発言には野次と言うか、フォローと言うか、さまざまあるが、現在は議場が騒然とするというようなことはない。本会議はインターネットでライブ中継もしているので、こちらも見たい。</p> <p>問：早稲田大学の議会改革度調査 2014 で、全道の市議会で 1 番だったとのことだが、公開度が高いということか。</p> <p>月田：一つには公開性、透明性がある。現在は政務活動費の領収証を全て公開としているが、自らの情報発信であるホームページなどが高く評価されたのではないかと思う。この取り組みにはゴールがないので、今後も力を入れていきたい。</p> <p>問：議会中は、理事者は議会对応を最優先しているが、かつて自分が学校現場にいた頃、生徒が交通事故で死亡した際に必死で現場対応していたのに、議会对応を念頭においた教育局から、一刻も早く報告しろと、うるさく問い合わせがあった。</p>

月田：議会会期中に、議会对応を優先することはやむを得ないが、人命に関わるときは、ケースバイケースだ。議会も事件が起きている最中に、対応より議会を優先せよとは言わない。

高橋：市民最優先である。

問：道東道について、阿寒と釧路の間が抜けている。用地買収の課題もあるとのことだが、早く開通するように要請していないのか。

戸田：議論はしているが、当該地は宅地としてたくさんの人に売られており、所有者確定に時間がかかっている。そこが確定しなければ用地交渉もできないという事情もある。

月田：予算確保に向けては、市長とともに行動している。道庁、開発局、国交省など市の単独要望や期成会要望に、議会も参加している。

問：プロポーザル方式という説明があったが、この言葉を説明してほしい。

高橋：民間のノウハウを活用した企画や提案をもらうこと。市立病院の場合、増改築だから今ある施設を使いながら建設しなくてはならないという大変難しい部分があるので、民間のノウハウを取り入れて、いかに効率的に進めるかが大切で、そのあたりについての提案をもらった。提案は3社あったが、一番良い提案の会社が選ばれた。

問：火力発電所の稼働はいつ頃か。釧路コールマイン(KCM)の石炭を使うと思うが100%なのか。海外から石炭を仕入れないのか。

草島：稼働は3年数か月後を目指しており、現在、住民に害が及ばないかなど北海道の環境アセスの実施をしようとしている。KCMの石炭は年間50万トンの出炭量だが、そのうちの2分の1から3分の1の利用ができる計画となっている。また環境の面から、石炭だけでなく木のチップも使うこととしており、

	<p>100%石炭というわけではないが、K C Mの炭はできる限り使用する前提で進んでいる。</p> <p>問：チップは釧路産のものを使うのか。</p> <p>草島：海外からのチップを利用することを前提としている。</p>
<p>議会への 要望・意見</p>	<p>問：議会報告会の意味は何か。議会基本条例の中で決まったから報告する、ということにウエイトがあるのか、問題点を指摘する場なのか。</p> <p>月田：議会報告会は議会での質疑を報告することが中心で、その上で市民の皆さんと幅広い意見交換ができればと思っている。</p> <p>また議員個人の見解が違うので、市長と同じ角度で話ができるかという難しい面もある。一人の発言が議会を代表したものであると誤解されかねないことから、どうしても議論のあったことを報告することが主にならざるを得ないが、可能な限り議論があった内容に答えることはできるのかと思う。</p> <hr/> <p>問：議会で行っている一問一答はとても良い取り組みだが、傍聴席からは理事者しか見えない。インターネットで議員の質問を見たが、息遣いも伝わってくるので、是非続けてほしいし、もっとPRすべきだ。</p> <p>また議員は普通に話しているが、理事者は日本語を間違っつつかっている。（「何々してございます。」の言い方はおかしいという意見）</p> <p>金安：理事者がまちがった日本語を使っているなど思うことは私もある。</p> <hr/> <p>問：今後18歳から選挙ができるようになり、本人の自覚も必要だが、議員の啓発・働きかけも大事である。</p> <p>草島：道教委で指針づくりがされており、注意深くその推移を見守っていきたい。また、投票率の低下に関しては、関係者には強く投票を進めているが、耳を傾けない人には届かない。</p>

金安：議会広報特別委員会としても取り組んでいきたい。

高橋：投票の勧めもあるが、選挙違反に対する注意もあり、この点も取り組んでいかねばならない。

問：釧路短大の卒業生である。市政に関心はあったが、どうしたら議会について知ることができるかはわからなかった。そうした折、在学中に釧路短大生を対象にした議会報告会が開催され、少し議会を知ることができ、それ以来こうした場にはなるべく出席しようと思っている。議会への関心があるかについては、参加者数などだけでは測れないと思うが、どういう反応を感じているか。また学生対象の報告会に関しても学校に向けての取り組みが大切だと思う。

松橋：参加者数の推移については、時間設定や開催会場による変動もあり、アンケートなどの意見を踏まえ試行錯誤を重ねている段階である。地域的には西部地域ではいつも多く参加しているが、東部地域では集まった人が少なかった。阿寒、音別地区でもなかなか集まらず、曜日や時間、会場を委員会で精査しながら進めている。

草島：18歳未満に対する選挙啓発の一環として、選挙管理委員会では投票箱を学校に貸し出すなどしており、高校生だけでなく、中学生にも周知に努めている。

金安：市議会としても、今年は中学生を対象に模擬議会を実施した。これが投票に直接結びつくかは別にして、なお模索して実施していきたい。

要望：昨年は桜ヶ岡中央会館に行ったが参加者がほとんどいなかった。参加者が少ないからやめるということではなく、周知を行き渡らせ事業を継続してほしい。

問：議会だよりがあれば、本日の報告会ももっと詳しく質問できたかなと思う。議会だよりが届いてからの開催のほうがよかった。

金安：次回の検討課題とする。

<p>市への 要望・意見</p>	<p>問：人員の適正化計画について、外部委託が進んでいるようだが、指定管理者制度を検証してほしい。委託料を下げた分、委託を受けた側の人件費が落ちていくのでは困る。単に安くというだけではなく、より良い仕事ができるように期待している。</p> <p>草島：指摘されたことに関しては同感で、行政側もこの声に沿った形で外部委託などを進めている。行政の委託業務というものは市民の個人情報を守らなければならない、同時に市民へのサービス低下があってはならない。サービスがさらに充実したという結果をもたらすように議会としてもチェックしていきたい。</p> <p>問：市民が集う施設は本来、地域住民の力を引き出せる場であるはずだが、単なる貸館になっている。指定管理業者には、単に施設を管理するだけでなく、地域住民の活動のサポートまで担ってほしい。今は住民の力を引き出そうとする意志が感じられない。</p> <p>草島：利用者から活動のアドバイスを求められたときには、対応できているものと認識していた。要望に応えられるような形をとるよう、意見を伝えたい。</p> <p>要望：「生涯学習」という言葉が使われてから、社会教育の分野が弱くなった。質的な確保を願いたい。</p>
----------------------	--